



信用金庫の定期積金の動向

とね 刀襦 かずゆき 和之、 しなだ 品田 ゆうし 雄志

ポイント

- 2011年度末の定期積金残高は、前期比11.1%減の5兆806億円となり、14年連続で前期を下回った。預金残高に占める割合も低下を続け、2011年度末には4.1%にまで低下している。
- 定期積金口数は前期比3.7%減の1,027万口となり、預金口数に占める割合も7.0%に低下した。
- 地区別の定期積金残高は、全11地区で前期を下回った。四国、九州北部、北海道などの7地区で前期比2桁減となったが、南九州は1.9%の減少にとどまった。
- 信用金庫別の定期積金の残高・口数を2001年度末と比較すると、残高が増加した信用金庫は10金庫、口数が増加した信用金庫は9金庫であった。
- 預金残高に占める定期積金の割合は、「10%以上」の信用金庫が2001年度末の15.4%から2011年度末には0.7%に、「4%未満」の信用金庫が2.0%から40.9%に変化している。

※本稿は、日本銀行「預金者別預金調査表」より作成している。このため、「日計表」による預金計とは一致しない。

1. 信用金庫の定期積金の動向

(1) 残高の状況

全国信用金庫の定期積金残高は、前期比6,374億円、11.1%減の5兆806億円となり、前年度(45億円、0.0%減)から減少額・減少率ともに拡大した(図表1)。

預金推進において、年金受給口座や定期性預金の獲得に注力する信用金庫が増えていることもあり、定期積金残高は14年連続で前期を下回っている。

預金残高に占める割合も低下を続け、2001年度末の7.9%から2011年度末には4.1%と3.8ポイント低下した。

(2) 口数の状況

2011年度末の定期積金口数は、前期比40万

口、3.7%減少の1,027万口となった(図表2)。年間3%程度の減少が続いているため、現在のペースで減少が続くと年度中の1,000万口割れも想定される。

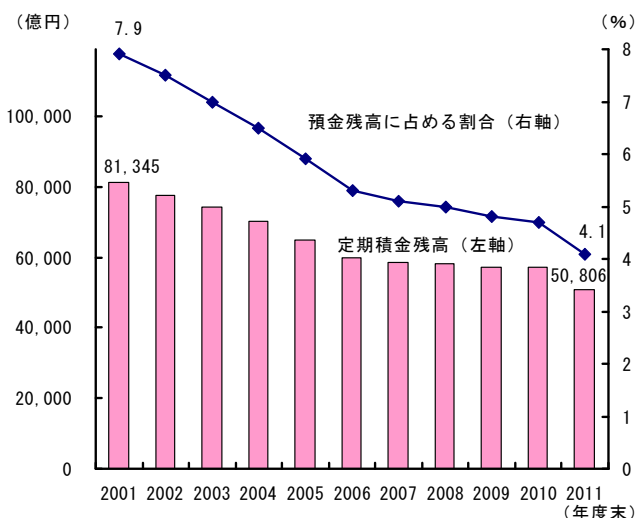
2001年度末の定期積金口数と比較すると、787万口、43.3%の減少であった。預金口数に占める割合も2001年度末の10.5%から3.5ポイント低下の7.0%となった。

2. 地区別定期積金残高の増減状況

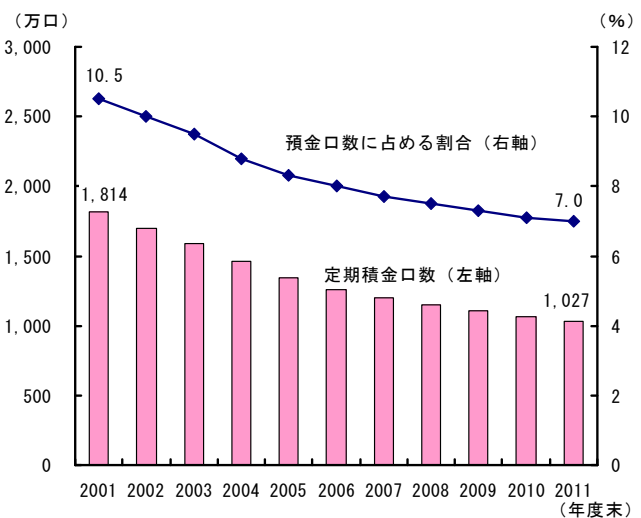
2011年度末の預金残高に占める定期積金残高の割合を地区別にみると、北陸(5.7%)と東京(5.3%)の2地区が5%を上回る一方で、近畿(3.0%)などの6地区は3%台であった。

地区別定期積金残高の増減状況は、全11地

(図表1) 定期積金残高の推移



(図表2) 定期積金口数の推移



区で前期を下回った。増減率では、四国（前期比 18.8%減）九州北部（17.8%減）北海道（15.7%減）などの7地区が2桁の減少を示した。増減額では関東、東海、近畿の3地区が年間1,000億円超の減少となった。一方、南九州は前期比23億円、1.9%減にとどまっている。

2011年度末の残高と比較すると、四国（17.7%減）を除く10地区で3割を超える減少となった。東京、関東、東海、近畿の4地区では残高が5,000億円超減少した。

3. 信用金庫別定期積金残高の増減状況

(1) 2011年度末との比較

2011年度末の定期積金残高・口数を信用金庫別に2011年度末と比較すると、残高が増加した信用金庫は10金庫、口数が増加した信用金庫は9金庫であった（図表4）。

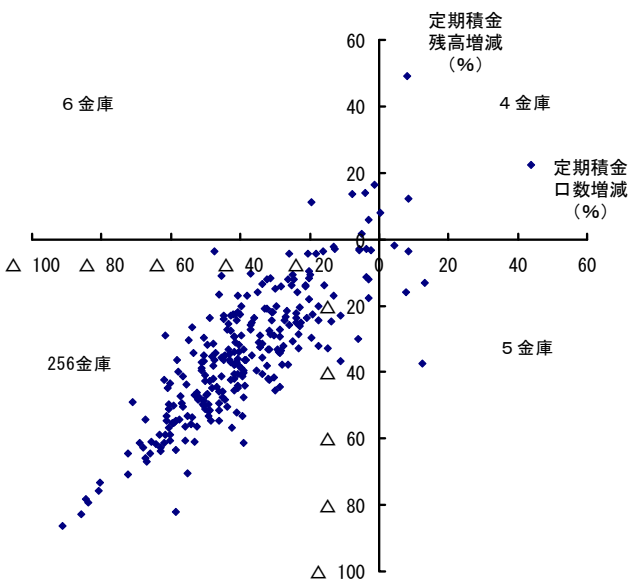
（図表3）地区別定期積金残高の増減状況

(単位: 億円, %)

地区	2011年度末		2010年度末		2009年度末		2011年度末比		2010年度末比	
	残高	預金に占める割合	残高	預金に占める割合	残高	預金に占める割合	増減率	増減額	増減率	増減額
北海道	3,151	5.7	2,532	3.9	2,133	3.2	32.2	1,017	15.7	399
東北	3,508	8.9	2,251	5.3	2,028	4.4	42.1	1,479	9.8	222
東京	17,798	9.3	12,690	5.7	11,886	5.3	33.2	5,911	6.3	803
関東	14,266	7.1	9,522	4.2	8,379	3.6	41.2	5,887	12.0	1,142
北陸	3,040	9.5	2,447	6.8	2,080	5.7	31.5	959	14.9	366
東海	18,315	9.0	13,442	5.5	11,883	4.7	35.1	6,431	11.5	1,559
近畿	13,140	6.5	8,859	3.6	7,570	3.0	42.3	5,569	14.5	1,289
中国	3,831	7.7	2,135	3.9	1,948	3.5	49.1	1,883	8.7	187
四国	1,031	5.7	1,045	4.3	848	3.4	17.7	183	18.8	197
九州北部	1,319	7.3	985	4.8	809	3.9	38.6	510	17.8	176
南九州	1,873	7.9	1,215	4.8	1,192	4.6	36.3	681	1.9	23
合計	81,345	7.9	57,181	4.7	50,806	4.1	37.5	30,538	11.1	6,374

(備考) 1. 地区間の譲渡等は調整していない。
2. 沖縄県は合計に含む。

（図表4）定期積金の増減状況



(備考) 1. 合併等は調整済み(業態間の調整は実施していない)
2. 2011年度末と2011年度末の増減率

残高と口数の増減状況を図示すると、残高、口数ともに増加が4金庫、残高は減少、口数は増加が5金庫、残高は増加、口数は減少が6金庫、残高、口数ともに減少が256金庫に達した。

(2) 預金残高に占める割合の比較

2011年度末の預金残高に占める定期積金残高の割合は、「4%以上6%未満」が117金庫、「2%以上4%未満」が96金庫、「6%以上8%未満」が36金庫などである（図表5）。

2001年度末の割合と比べると、「10%以上」の信用金庫は15.4%（54金庫）から0.7%（2金庫）に、また「4%未満」の信用金庫は2.0%（7金庫）から40.9%（111金庫）と、10年間で大きく変化している。

以上

（図表5）定期積金残高の割合の比較

